

[東京工業大学 1957 年 解析Ⅱ 1]



(1) x を正数とするとき、次の不等式を証明せよ。

$$(1+x)^n \geq 1+nx \quad (n=1, 2, \dots)$$

(2) 次の不等式を証明せよ。

$$1 + \frac{1}{\sqrt{n}} > \sqrt[2n]{n} \quad (n=1, 2, \dots)$$

(3) 次の極限值を求めよ。

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt[n]{n}$$



(1) $n=1$ のとき、 $(1+x)^1 \geq 1+1 \cdot x$ となって等号が成立する。

$n \geq 2$ のとき、二項定理より

$$(1+x)^n = 1 + {}_n C_1 x + \sum_{k=2}^n {}_n C_k x^k$$

となるが、 $\sum_{k=2}^n {}_n C_k x^k > 0$ であるから $(1+x)^n > 1 + {}_n C_1 x = 1+nx$ となって成立する。

以上より、題意は示された。

(2) (1)の結果において $x = \frac{1}{\sqrt{n}}$ とすると

$$\left(1 + \frac{1}{\sqrt{n}}\right)^n \geq 1 + n \cdot \frac{1}{\sqrt{n}} = 1 + \sqrt{n} > \sqrt{n} = n^{\frac{1}{2}}$$

を得る。

したがって $1 + \frac{1}{\sqrt{n}} > n^{\frac{1}{2n}} = \sqrt[2n]{n}$ となる。

(3) $n \geq 1$ なので $\sqrt[n]{n} \geq 1$ であり、(2)から $1 \leq \sqrt[n]{n} < \left(1 + \frac{1}{\sqrt{n}}\right)^2$ である。

ここで、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{\sqrt{n}}\right)^2 = 1$ であるから、はさみうちの原理により $\lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt[n]{n} = 1$